

令和3年度 沖縄県振興審議会 第4回農林水産業振興部会議事要旨

令和3年9月9日（木）14：00～16：00

議題【3-(7)-キ 魅力と活力ある農山漁村地域の振興】について

- 造成未利用地や耕作放棄地、放牧放棄地、造林未済地などは地目を「山林」に変更し、グリーンインフラの創出の観点から、森林に再生する考えを盛り込むべき。
- 農山漁村の多面的機能あるいは公益的機能を広く周知させるための発信基地（ステーション）を創設し、農林水産業の普及員や地元関係者が発信拠点として利活用する仕組み作りを構築すべき。
- 有機農業に対する需要はあるため、エコファーマー及び特別栽培農産物のほか、有機農業を入れるべき。
- 農山漁村が有する沖縄らしい風景、歴史・文化的な資源の保全活用について、普及も含めた仕組みづくりが必要である。
- ビジネスをやっている川下側から農業の分野に入り込んでくることから、双方からの連携を進める環境づくりということで、農商工連携という言葉も記載すべき。
- 畜産廃棄物処理と耕畜連携による循環型農業のイメージを農家に浸透させる必要がある。
- 循環型農業促進のため環境に配慮した農業の実践では農家のコスト負担が多くなっていくので支援が必要である。

議題【3-(10)-ア 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興】について

- 離島や島嶼域で森林や緑地帯での振興は、生産額が僅少であっても、今後の将来計画を記載すべき。
- 防風林、防潮林、海岸砂防林などのグリーンインフラを有機的に構築し、島嶼域の樹林帯の面積を増大させる旨の記述が必要である。
- 離島からの農産物の出荷が少ないので、離島から本島向けの不利性解消の取組が必要である。
- 肉用牛等の更なる高付加価値化・ブランド化は何を示しているか整理が必要である。
- 宮古・八重山と小さい離島の対策は分けて考える必要があるため、書き分けを整理してほしい。
- 人口の急激な減少と離島農業振興を結びつけた施策を入れる必要がある。
- 人口減少が著しい小規模離島での作業受委託体制の構築は可能か。
- 離島は生産コストが本島より割高となっていることを記載すべき。
- 離島の農家は生産資材や飼料購入に輸送費の上乗せがあるので、不利生解消事業には生産資材の移入も盛り込んだ方がよい。
- 流通・加工に焦点をあてて整理し、園芸振興の施策をは別立てする必要がある。また、水産の流通部分との組み替えも検討が必要である。合わせて、6次産業化・農商工連携という書き方にしてはどうか。
- 離島で製糖業に従事する人を周年的に雇用出来るような仕組みを考える必要がある。
- 今いる担い手の中で規模拡大を支援する方向で考えるべき。
- 生産資材を長期保管できる施設の整備が必要である。
- 離島の農林水産業振興において、人口をストックで増やす対策は難しい。往来するフローでの関係人口を増やす視点で検討すべき。

議題【第6章 県土のランドデザインと圏域別展開】について

①広域な海域の保全・活用

- 生態学的には熱帯海域だが、亜熱帯海域の表現がよい。
- サンゴ礁は種多様性の高い環境だが、そのものが多様性が高いものではない。
- 「海洋環境を管理する」、「海洋空間の適正な利活用」というのはどういう意味か。
- サンゴ礁、藻場、干潟、マングローブ林等の創出は可能か。

②圏域別展開

- 北部圏域で林業を営む森林は、あくまでも世界自然遺産登録地域ではなく、緩衝地帯や周辺管理地域に限られていること、ここから産出される木材の貴重性を追記すべき。
- 北部圏域の水産業ではソデイカ以外に何を想定しているのか。また、養殖の振興は表現を修正すべき。
- ハマフエフキは、長く取り組んできて成果が少ない魚種であり、将来計画に出すべき漁種か。種苗生産に関しては、技術開発したものを民間移転すべきものだが、普及展開していないのではないか。
- マチ類よりスジアラやシロクラベラの資源管理ではないか。
- アカジン、マクブの資源管理の取組をやりながら別の漁種もやるのか、もしくはその取組の評価を兼ねて推進する書きぶりとするべき。
- 北部圏域ではアグーだけでなく、一般豚の記載もするべき。
- 畜産の流通施設の整備を記載する必要がある。
- 北部圏域では青切みかん、タンカン等青果物の生産が落ちており、ブランド化と生産振興を強化する必要がある。
- シークワサーの付加価値は高いので地域特産として北部に記述してほしい

- 北部圏域では地力が低いところが多く、生産性を上げるため耕畜連携の取組を書き込んでほしい。
- 北部圏域の水産業でスギの養殖も記載してほしい。
- 中部圏域、南部圏域の畜産について、規模拡大の記述を入れるべき。
- 南部圏域で家畜排泄物の処理施設の整備が必要である。
- 南部圏域の都市近郊型農業の促進は何をするのか分からないので具体的な記載をするべき。
- 南部圏域、八重山圏域のところに木材生産業者の組織化、ブランド化の施策を記載するべき。
- 黒糖のブランド化、高付加価値化の効果的な取組ができる方針を打ち出してほしい。
- 八重山圏域では牛糞の野積みが多く、処理対策が必要である。
- 八重山圏域でグリーンツーリズムと森林ツーリズムの記載は合わせてはどうか。

その他

- 国指定の伝統工芸品（各離島の上布、三線、その他の品目）の原材料を生産する団地・拠点を創設するべき。
- 域内で完結する取組、域外も含めて全県での取組をうまく分けて表現する必要がある。
- 南部の農業用タンクが整備されているが、送水が開始されないので、早期に水が使えるようにしてほしい。

以 上